

私は4歳の頃病気になる、薬を服用すると体が楽になりました。またその時対応してくれた薬剤師の方がとても優しく、私も将来は薬剤師になりたいと強く思いました。そして高校生になっても薬剤師になりたいと思う夢は変わりませんでした。中学3年生からの習熟度別授業は自分のレベルに合わせて効率よく学習することができました。私は数学が好きだったので、応用クラスでの数学の授業がとても楽しかったです。さらに、放課後の課外授業がとても充実していたので、学習塾に通わずとも、自分の足りない能力を選んで強化することができました。先生方とも接しやすく、優しく声をかけてくれたので、何でも相談できる環境でした。時には夢の話をするなど、進路についても相談にも応じてくれました。大学入試の志願書の添削や面接練習、合格の報告を共に喜び、たくさんのサポートをしていただき本当に感謝しております。高校に入学したときはコロナ禍で2度の長期休暇や分散登校に加えて行事の中止も相次ぎ、制限のある高校生活で思い出作りの機会が減りました。その中でも遠足やクラスマッチ、文化祭など先生方は感染対策を行いつつ開催してくれました。行事は少なかったけれども、その分友人とコロナが収束したらやりたいことやお互いの夢を語り合ったりして良い刺激にもなり感染対策についても考えさせられた3年間でした。怪我で退部をしてしまいましたが、私は中学1年生から高校2年生までバレーボール部に所属していました。同級生だけでなく先輩、後輩と話す事よりのコミュニケーション力が培われました。また日々の活動を通してマナーや礼儀が身につきました。部活動では、練習や合宿などもあり、仲間と過ごした時間は楽しかったです。中学1年生から一緒に部活や受験勉強に励んだ友人達はきっと生涯の友になると思います。

茨中・茨高は「報恩感謝」を日々の学校生活に取り入れています。創立者の墓前に入学の報告と卒業の報告をします。中学校の奈良・京都研修旅行では能を鑑賞するなど、日本の文化や伝統についても学べました。私はこの6年間でたくさんのことを学び、たくさんの人に支えられ、卒業することができました。そして日頃から感謝の気持ちを持つことが大切だと気が付きました。これからも感謝の気持ちを忘れず夢に向かって歩んでいきたいです。